

災害への備え 各地域の行事

加西市ボランティアのつどいに参加 ~災害時でのボランティア精神の高揚を図るために~

1月25日(土)、加西市健康福祉会館で災害時の支援活動やボランティアの精神の高揚を図ることを目的に、第15回ボランティアのつどいが開催されました。兵庫県支部も多可赤十字病院の協力のもと、加西市地区と加西市赤十字奉仕団の皆さんとともに参加。災害での支援の一つといえば、やっぱり「きずの手当て」でしょ、ということで応急手当て体験コーナーを担当しました。オープンするや否や、市民の皆さんや子どもたちで会場はいっぱいとなり、市民の皆さんの防災意識の高さをうかがい知ることができました。参加者には三角巾を使ったきずの手当てとして、頭や足などへの包帯の方法を体験していただき、子どもたちからは「おもしろかった」「家に帰ったらお母さんと一緒に練習したい」といった感想も聞かれるなど、楽しいイベント参加となりました。



三角巾の使い方を学ぶ子どもたち

播磨町で赤十字奉仕団実践研修訓練を開催 ~新たにスタートした赤十字防災啓発プログラムの内容を取り入れる~

1月29日(水)、播磨町中央公民館で播磨町赤十字奉仕団実践研修会が開催され、23名の奉仕団員が参加しました。

最初に、家族や地域の人たちへの人命救助のためのAEDを使った心肺蘇生訓練が行われ、胸骨圧迫や人工呼吸の方法、AEDの使い方の研修などを行いました。また、非常食の炊出し訓練では、今年度から新たにスタートした赤十字防災啓発プログラム「地域で考える災害時の備え」の講習の内容を取り入れた訓練を実施。奉仕団の皆さんは、非常持ち出し品や避難所生活での注意点、炊出しをする場合の注意点などに留意しながら、被災者への非常食(アルファ米)の炊出しに取り組んでおられました。



避難所生活や炊出しについての講習

三田市総合防災訓練に参加 ~災害に備え、支援体制の充実・強化のために~

1月26日(日)、三田市総合防災訓練が実施され、三田市赤十字奉仕団が、メイン会場の城山公園からサブ会場の三田市総合福祉保健センターまで搬送する救援物資の輸送訓練に参加しました。

また、救援物資搬送先の三田市総合福祉保健センターで、一般の避難所では生活が困難である高齢者や障害者といった災害時要援護者を受け入れる福祉避難所の開設訓練を同時に実施。三田市地区職員の皆さんも避難所の運営や要援護者の受け入れなどに取り組んでいました。



福祉避難所へ水や医薬品の搬送

救急法等の講習 講習のご案内 ~健康で安全な生活を送る知識と技術を~

急病や不慮の事故から身を守り、大切な人のいのちを救うための正しい基礎知識と技術を身につけてみませんか?

日本赤十字社は、皆さまが健康で安全な生活を送るための手助けができるよう、救急法等の普及活動に努めています。

- ◇講習会場は日本赤十字社兵庫県支部です。
- ◇水上安全法の会場は神戸赤十字病院(初日のみ)、神戸市立ポートピアランドスポーツセンターです。
- ◇詳細及びその他の講習についてはホームページで。

内容	開催日
救急法基礎講習(1日間)	4月20日(日)、5月19日(月)
救急法基礎・救急員養成講習(3日間)	4月26日(土)・27日(日)・29日(火・祝)
	5月3日(土)・4日(日)・5日(月・祝)
	5月17日(土)・24日(土)・25日(日)
水上安全法(救助員養成講習)(4日間)	5月6日(火・祝)・10日(土)・11日(日)・17日(土)
幼児安全法支援員養成講習(2日間)	5月11日(日)・18日(日)



パソコンから

赤十字 兵庫

<http://www.hyogo.jrc.or.jp/>

ひょうごの赤十字

2014 MARCH 3月



● 活動資金にご協力ください

- 災害対応力を身につけよう、防災ボランティア訓練を開催
- 平成25年度第2回評議員会を開催
- 青少年赤十字協議会例会を開催
- 救急法ミニ講習イベントをイオンモールで開催
- 県内の地区・分区の災害救援車両が更新
- 各地域の行事
- 講習のご案内

[写真説明] ①毛布がガウンに早代わり(「災害対応力を身につけよう!!」イベント会場) ②ナース服を着て記念撮影(赤十字救急法ミニ講習会) ③地区・分区へ配備された災害救援車両

活動資金にご協力ください

~皆さまのご支援が、いのちと健康を守る活動を支えています~

地域の皆さまの安全・安心を図るため「街角の赤十字」として兵庫県内の警察署、交番等755ヶ所に設置している救急箱とあわせ、平成23年度からは7カ年計画で140台のAEDを警察署等に設置するなど、皆さまからお寄せいただいた資金はいのちと健康を守る皆さまの身近な活動に活かされています。



郵便振込で

口座番号:01110-0-1136
口座名義:日本赤十字社兵庫県支部
(窓口振込により手数料は免除されます)



銀行振込で

銀行名:三井住友銀行神戸営業部
口座番号:普通口座8527478
口座名義:日本赤十字社兵庫県支部
(振興課まで専用振込用紙をご請求ください。)



お電話で

◇活動資金に関するお問合せ
078-241-8921
(兵庫県支部 振興課)



日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1丁目4番5号
TEL.(078)241-9889 FAX.(078)241-6990
<http://www.hyogo.jrc.or.jp/>

災害対応力を身につけよう、防災ボランティア訓練を開催

～地域の皆さんとともに防災意識を高めるために～



奉仕団の皆さんに教えてもらって北条高校の生徒さんも炊出し訓練のお手伝い

2月16日(日)、兵庫県立北条高等学校で赤十字防災ボランティア総合訓練「災害対応力を身につけよう!!」を開催しました。

連日の冷え込みで道路わきにはまだ雪が残っている場所も多く、グラウンドの状態を心配しながら会場へ。

阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承するため、赤十字奉仕団や防災ボランティアを中心に、姫路・柏原・多可・神戸赤十字病院、血液センター等が参加しての訓練も今回で7回目となり、約140人が参加。

加西市を震源とする震度7の地震が発生したという想定で始まった午前中の訓練は、防災ボランティアリーダー等がボランティアセンターを立ち上げ、救護所の設置や救援物資の搬送等に各地から集まったボランティアを派遣。他にも加西市赤十字奉仕団と北条高校の生徒たちによる被災者への炊出しや、情報発信と収集のための他府県の奉仕団との無線通信等も行われました。天候には恵まれたものの、冷たい風が吹く中での開催となりましたが、来場者や参加者は昼食にふるまわれた炊出し訓練の温かい豚汁とアルファ化米の五目御飯でホッと一息。

楽しみながら防災意識を高めてもらおうと実施した午後からのイベントには、地域住民の皆さんにも参加していただきました。子どもたちは、救護員やナース服での記念撮影にバルーンアート、輪投げに大喜び。紙飛行機のコーナーでは、手作りの飛行機を大人も子どもも夢中で飛ばしていました。

また、AEDと心肺蘇生、三角巾を使ったきずの手当て、担架搬送やロープワーク、毛布で作るガウンや風呂敷のバッグ等、知っていれば役立つ防災コーナーも人気を集めました。

屋外ではdERU(緊急対応ユニット)の大型エアテントの展示や無線通信体験も行われるなど、盛りだくさんの内容に来場者の皆さんからは「今日は楽しかった」「勉強になりました」といった嬉しい声も。さまざまな体験を通して、防災への意識を高める訓練となりました。



救援物資の搬送



自分だけの飛行機、ちゃんとできるかな



日本赤十字社の救護服を着て記念撮影、敬礼!!

平成25年度第2回評議員会を開催

2月19日(水)、兵庫県支部で平成25年度第2回評議員会が開催されました。

冒頭の井戸支部長の挨拶では、神戸赤十字病院、兵庫県災害医療センターが10周年を迎えたことに触れ、さらに県民の期待に答えなければならぬなどの話がありました。また、昨年12月の海外たすけあいでの兵庫県赤十字奉仕団や兵庫県日赤有功会のご協力に対し感謝の言葉と、日頃からの社資協力に対しお礼を述べられました。

続いて、藤原事務局長から「平成25年度事業進捗状況」の報告。「平成26年度兵庫県支部事業計画並びに平成26年度歳入歳出予算」「日本赤十字社代議員の選出」「日本赤十字社兵庫県支部監査委員の選出」についての審議があり、いずれも承認されました。

最後は、赤十字活動の報告として、東日本大震災復興支援事業として仮設住宅でノルディックウォーキングや榎葉町立あおぞらこども園の再開などのDVDをご覧頂きました。



井戸支部長から挨拶

青少年赤十字協議会例会を開催

～「フィリピンへの支援」をテーマに～

2月2日(日)神戸赤十字病院を会場に、兵庫県高等学校青少年赤十字協議会例会(第3学期)が開催され9校、48名が参加しました。例会は、学期ごとに青少年赤十字加盟校が担当校となり、メンバー(生徒たち)が社会や世界で起こっている様々な事象から学習するテーマや内容を決め、自分たちに何ができるかを考え、実践すること目的に開催しています。

今回は、兵庫県立国際高等学校が担当校となり、台風30号によって大きな被害を受けた「フィリピンへの支援」をテーマに、午前は被災状況等を知るため、現地の医療救援活動に従事した甲斐医師(兵庫県災害医療センター)と、被災した漁師へ漁船を贈るために生徒とともに募金活動に取り組んだ宇治教諭(滝川高等学校)に活動報告を行っていただきました。報告を通じてメンバーは、フィリピンの被災状況について理解を深めるとともに、海外における支援の難しさ、被災者した人々と連携して活動することの大切さ、現地での直接的な支援以外にも自分達にできる活動がたくさんあることなどを学びました。

そして、午後からは、「フィリピン台風救援金」の募金活動を行うためJR三ノ宮駅周辺へ移動し、午前中に学んだことを通行人の方々に積極的に呼びかけ、1時間半の活動で68,891円のご協力をいただきました。また、1日を通して、学校を超えたメンバー相互の親睦も深めることができました。

この日寄せられた救援金は、日赤を通じてフィリピンの救援に活用させていただきます。



学んだことを積極的に呼びかけ募金活動に取り組むメンバー

救急法ミニ講習イベントをイオンモールで開催

～目の前の大切な命を救うために～



大人気のイベント会場

最近、公共施設などでよく目にするAED。兵庫県支部では、大型商業施設のご協力のもと、一人でも多くの皆さんに大切ないのちを救うAEDの使い方を知っていただくための救急法ミニ講習イベントを県内各地で開催しています。

2月11日(火)にはイオンモール姫路大津で、AEDを使った心肺蘇生を市民の皆さんに体験していただきました。人形を使っての心肺蘇生やAEDの操作は、イベント開始直後から子どもたちに大人気で、一日で104名もの参加がありました。「AEDは誰でも使えるの?」「子どもの場合だとどうしたらいい?」といった質問もあるなど、身近な人に何かあった時のことを考えながら、皆さん熱心に取り組んでおられました。

県内の地区・分区の災害救援車両が更新

～災害への備え、そして赤十字活動の推進を図るために～

2月17日(月)、県内の地区・分区への災害救援車両の引渡式が兵庫県支部で行われました。

兵庫県支部では、救護資材や救援物資の搬送など災害時の救護活動を円滑に行うため、また、平時には赤十字活動の推進を図っていただけるよう災害救援車両を県内各地市町に配備しています。

このたび、神戸市長田区地区、北区地区、三木市地区、淡路市地区(2台)、南あわじ市地区、たつの市地区、養父市地区、多可町分区、佐用町分区の計10台の車両が更新されました。

赤十字のマークをつけた新しい車両が、災害への備えや災害救護活動など住民の皆さんのいのちと健康を守るために整備され、各地域で活躍します。



地区・分区へ整備される災害救援車